

## 年男雑感



網走医師会  
桂ヶ丘クリニック

藤田 力

新年明けましておめでとうございます。光陰矢の如しで、あっという間に不惑はおろか、50も過ぎ還暦です。そんな折、年男ということで原稿の要請を受けました。雑文ですが、新年所感に投稿させていただきます。

子どものころは視力検査でマサイ族並みに2.0が楽々見えたのですが、今では遠近・中近・近々とスライドやパソコン画面に合わせて眼鏡を替え、必要物品が増えてきました。出勤や学会出張の折に点検項目が多くなりましたが、ポケ防止と思っています。網走市桂町の坂は400mで、70mの勾配、これをノンストップで歩けなくなる日がすぐ来るはず。その日をできるだけ遅くするために、診療中にリハビリ指導と称して、ハーフスクワットやストレッチに勤しむ毎日です。

仕事は目の前のニーズに合わせてやってきたような気がします。脳外科診療では脳卒中予防の老年医療、ここ20年で激増した認知症とその予防、さらに気が付けば通院困難者の激増で在宅医療が必須となり、包括ケアの広さ深さにわくわくしつつ、なんとかせねばと気を引き締めています。

最近では年10名以上の認知症の方に免許証自主返納をしていただき、遠距離から運転して通院される方には地元への紹介を粘り強く行なっています。この3月から道路交通法もさらに厳しくなって、任務も重くなりそうです。

最後に個人的なことですが、東北で生まれ育ち、田畑山林製材の家業で、子どものころは遊びほうけておりました。オホーツクに居を構えてから子どものころの植物樹木への興味が再燃。最初の壁はトルコ桔梗でした。育苗期間は長く正月から一年の計のように開始、細部省略しますが、何とか10年がかりで簡略発芽・手抜き開花がコンスタントにできるようになりました。手の内を明かせば、JA販売の培土であるプラグエースとポットエースに頼り切っています。発芽はともかく開花作業が手抜きなので、いつかはこまめにしたいのですが、職業優先と戒め、第二の壁の「職場の敷地ののり面を雑草からハーブへ」に昨年からこっそりチャレンジしています。頑張っても「雑草は強い」ので、今はお手上げ状態。

大学では部活優先で楽しく学んだ6年、医局ではみっちり教育された10年余。ご指導頂きました先生方と患者さんのご期待に報いるためにも、健康で地域職業奉仕を長く続け頑張らねばと思う日々です。皆様のご健勝を祈念申し上げます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 年女雑感



札幌市医師会  
あけぼの皮膚科

田中 真弓

皆様明けましておめでとうございます。年女として何か一筆を、とのご指名を受けました。でも、確か12年前にも当たったような…何も気の利いたことは書けないので、思いつくままに書かせていただきますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さてこの12年間に変わったことと言えば、7年ほど前から子どもたちと3人暮らしになったことです。それまでとは違って、家ではのんびりと平和な時間が流れるようになりました。子どもたちもそれぞれマイペースに勉強した結果、現在息子は医大の5年生で、ただ今クリクラ（昔のポリクリのことだそうです）真っ最中です。彼から最新の知識を吸収するのは、私にとってとてもいい刺激になっています。娘の方は歯学部で3年生で、歯の専門の実習も始まり、もうそろそろ彼女の勉強は構ってやれなくなりましたが、手先の器用さを活かして何とか自力で切り抜けて行ってほしいものです。

自分自身は約5年前に（今何かと話題の）乳癌になり、温存術・放射線治療を受け、現在ホルモン療法中です。それを始めとして、私の健康維持のためにたくさんの先生方にお世話になり、大変感謝しております。

思えば、私は随分回り道して医師になったので（もし、ご興味のある方は12年前の拙文をご覧くださいませ）、医師になるまで30年、なってから30年で、今年で合計60年となる訳です。年相応の成熟からは程遠い自分に反省しきりですが、たまたま久し振りに医大の卒業アルバムを出してきて見ましたら、懐かしい顔とともに当時の学長菊地浩吉先生のお言葉があり、「同級生に信頼される医師たれ」と書かれていました。私の診療所は本当に小さく、特別すごい機械等ありません。いわゆる昔ながらの町医者と言ったところですが、「優しい対応と易しい説明」をモットーに（恩師の教えの如く?）、「名医でなくても人の痛みが分かる医者、自分や家族が患者だったらかかりたい医者」を目指してやっており、お陰様で今年で開院23周年になります。同級生はじめ近隣の先生方や多くの皆様に支えていただき、なんとかやって来られました。やはり少し疲れ易くなったかな～とも思いますが、これからもコツコツ地道にやって行きたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。